

# ようこそ 家庭医療へ!

～いわきに生きる家庭医療への挑戦～

第89回

## いわき市地域医療を守り育てる基本条例



診療部 石井 敦

この連載をご通読くださっている皆さんなら薄々感じておられるかとは思いますが、いわきの医療はまさに危機的事態に直面しています。医療は、電気・水道・ガスなどのライフラインと同じように、市民生活に欠かせない必須のものです。これがなければ高齢者はもちろん、出産・子育てを控える若い世代が安心して住み続けることはできません。しかしながら当地いわきでは、震災前から医師のいわき市外への流出が続く一方、外部から赴任した医師がいわき市に定着しないという事象が発生していました。そして、その医師不足という現実が、震災後に一気に顕在化しました。医療従事者が流出する中、大規模な避難、廃炉・除染作業員の受け皿となった当地の医療需要は高まり、更に過酷になった医療現場は、疲弊した医療スタッフの流出という悪循環を生んでいます。

この事態を打開するためには、いわきが「医療・介護スタッフが働きたい場所」として、日本全国、更には世界中から選ばれた街に生まれ変わる必要があります。つまり、住民が、いわきで働く医療・介護スタッフをプロフェッショナルとして尊敬し、医療・介護スタッフが地域に溶け込めるようなサポート体制を整えることが重要です。

このような状況下、いわき市新条例が、2017年6月の市議会でも可決されました。この条例は、救急医療をはじめとしたいわき市の地域医療が置かれている厳しい状況について、市や医療機関だけでなく、市民の皆さんにも十分に認識していただき、それぞれの立

場で課題解決に取り組むため、市、市民及び医療機関が果たすべき役割を明らかにし、相互に連携・協力して、地域医療を守り育てるための様々な活動を行うことにより、将来にわたり、市民が安心して良質な医療を受けることができる体制を確保することを目的に制定されました。

条例では、地域医療を守り育てるための、市、市民及び医療機関の役割を明らかにしています。市の役割は、救急医療体制の維持及び強化、医師の確保、保健や福祉との連携などの基本的施策を策定し、実施すること。市民の役割は、かかりつけ医を持つこと、受診に当たっては、医師などの医療の担い手に信頼と感謝の気持ちを持ち、その指導と助言を尊重すること、夜間又は休日の安易な受診をしないことなどに努めていただくこと。医療機関の役割は、患者の病状に応じた機能分担と連携により地域医療を充実させること、患者との信頼関係を築くこと、保健や福祉との連携を図り、在宅医療に取り組むことなどに努めることと明記されています。

このような内容の条例は東北初だそうです。この条例は、いわゆる理念条例であり、罰則規定はありませんが、「オールいわきで危機を好機に変えよう!」という意識づけに寄与し、それぞれの立場で課題解決に取り組むきっかけになれば良いと思います。

かしま病院では、2008年度から家庭医を志す研修医や地域医療実習を行う医学生を受け入れています。このコラムを担当する医師の石井敦は日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医として、研修医・医学生の指導を行っています。



第76回

### 回復期リハビリテーション病棟での入院生活

回復した後に自宅へ戻っていただくことを目的とした病棟です。そのため回復期病棟では退院後の自宅での生活を想定し、それに沿って1日のスケジュールがある程度決められています。朝8時から朝食が終わると、寝間着から普段着に着替えます。ひげそりや洗顔、歯磨きなどの整容行為はできる限り患者様自身で行なっていただきます。日中は午前と午後リハビリがあり、入浴は曜日が決まっています。夕方になるとまた普段着から寝間着に着替え、夕方6時には夕食となります。また空いた時間

今回は、回復期リハビリテーション病棟（以下、回復期病棟）での入院中の過ごし方についてお話しします。回復期病棟とは、病気やけがによって、リハビリが必要となった患者様に対して、専門職種がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施し、

にはおしゃべりをしたり、テレビをみたりしていますが、中には自分でリハビリをしているという方もいらっしゃいます。入院と聞くと、寝間着のまま1日中ベッドで過ごしているというイメージを持たれる方も多いと思いますが、回復期病棟は違います。他の病院や病棟から入棟されてきた方は、最初は驚かれますが、こういった更衣や整容などの日常生活ひとつひとつがリハビリそのものということです。入院中のあらゆる場面において少しでも自宅での生活に近づけるように工夫がされているのです。

回復期病棟はリハビリを積極的に行なうことによって機能を回復させる病棟で、その先には今後の生活がみえています。病棟内のスタッフ間で協力をして患者様ができるだけ介助を要せずに生活が出来るよう改善を促していきます。

言語聴覚士 鈴木歩実



▲テレビ観覧している様子

## かしま荘通信

誕生会

6/20(火)



6月は4名の利用者様が誕生日を迎えられ、施設長よりお祝いの言葉と花束が贈られました。今回は、はなみずきの会様に慰問いただき、懐メロや舞踊、ハモニカ演奏などを披露していただいたり、会場全員で大声で合唱したりと楽しい時間を過ごすことができました。

## イベント開催予定のお知らせ

### 糖尿病教室

- 日時 毎月第1火曜日 10:00～10:30  
会場 クリニックかしま会議室
- ・7月4日(火)『食事療法って大変? みんなどうしてるの?』
  - ・8月1日(火)『自己血糖測定 活用術!』  
こんなときどうしたらいいの?
  - ・9月5日(火)『リハビリについて』

### ゆる体操教室

- 時間 1回目 13:30～14:30  
2回目 15:00～16:00  
会場 クリニックかしま会議室
- ・7月1日(土)
  - ・8月27日(日)
  - ・9月9日(土)

### 家庭医療セミナー～実践家庭医塾～

- 時間 19:00～20:00  
会場 かしま病院コミュニティーホール
- ・7月20日(木)

### 乳がん患者のつどい アイリスの会

- 日時 毎月第3水曜日 14:00～15:30  
会場 かしま病院コミュニティーホール
- ・7月19日(水)
  - ・8月16日(水)
  - ・9月20日(水)

興味のある方は、お問い合わせください。